

すずか税のたより

第130号
平成28年11月発行

「すずか税のたより」は鈴鹿税務連絡協議会のホームページに掲載しています。

主催

鈴鹿納税貯蓄組合
連合会(習字・作文)
公益社団法人鈴鹿法人会
(絵はがき)
鈴鹿間税会(標語)
鈴鹿税務署(作文)

平成28年度 応募状況

作文

328編

習字

1,437点

絵はがき

964点

標語

2,474点

小学生の絵はがきコンクール



亀山市立井田川小学校 6年 速水 萌花

鈴鹿税務署長賞

小学生の税に関する習字

この国の
未来につながる
消費税

亀山市立中部中学校 1年 稲森 香乃

鈴鹿税務署長賞

中学生の
税の
標語



鈴鹿市立神戸小学校
6年 白藤 優

鈴鹿税務署長賞



亀山市立井田川小学校
6年 秋岡 なお

三重県教育委員会賞

中学生の税についての作文

鈴鹿税務署長賞

人を助ける税

学校法人 鈴鹿享栄学園 鈴鹿中学校

3年 江藤 謙汰

僕は学校の授業で税について習いました。両親は自動車税や固定資産税など他にも多くの税金を納めています。税金を納めることは国民の義務だと言いながらも家計の負担でもあります。僕にとって一番身近に感じる税は、消費税です。買い物をして細かい計算をしなければいけないし、「少ないおごづかいなのに、どうして税金なんてあるんだろう。」と思っていました。消費税の増税が二〇一九年十月まで先送りされ少しほっとしていました。

少し前に熊本地震がありました。家が倒壊して住む所の無い人々の生活や、壊れた橋や道路を直す費用はどうなっているのだろうと思いました。復興には七七八〇億円もの予算が必要になるそうです。この想像もできない金額ですが、これには僕たちが納めている税金が大切になってくるのです。税金は困っている人たちのために使われる会費のようなものだと思います。税金を納めることへの僕の今までの考え方は間違っていたことに気づきました。

また、その他にも税金の使い道について調べてみました。例えば、学校の机や椅子や教科書や医療費などに使われて

ました。もし、僕たちの生活に税が無かったら、消防車や救急車が来ないことや、ごみ回収の有料化や、教科書や黒板や机が無いから授業ができない、警察官がいけないので、町の安全が守られない、病院代が高くなってしまふなどの問題が起こります。

僕は、小児喘息の既往があり、小さい頃何度も病院に行っていました。夜間に発作が起こり休日診療で診てもらったこともあります。しかし、その頃は乳幼児医療制度という税金の援助のおかげで、安心して治療を受けることができました。

こうして考えてみると、僕の日常の中には税金のおかげといえることがたくさんあります。僕たちが安心して安全な日常を送るためには、とても大切なものでなくてはならないのだと分かりました。使われている税金の比重や消費税の比率もそれぞれ国によってさまざまです。

税金は困っている人や弱者のために使われるべきです。僕は自分の住んでいる日本はとても快適だと思えます。でも、今後の自分自身の課題として外国と日本の税金の違いについても調べてみたいと思いました。

今、僕は税によって支えられている側なのですが、数年後就職して、給料をもらうようになったら、支える側の立場として、税金をきちんと納めたいと思えます。いつまでも、税によってみんなが支えられて、助けあえる豊かな国であってほしいと思います。全ての人が、税を納めるという意識を強く持つて欲しいと思いました。

鈴鹿税務推進協議会長賞

今後の税金

亀山市立中部中学校

3年 新開 亜梨子

私は、日本の今後の税金について調べてみました。

日本は、世界に例をみないほど急速に「高齢化」が進行しています。同時に、出生率の低下による「少子化」も進んでおり、二十一世紀半ばには、国民の二・五人に一人が六十五歳以上の高齢者という超高齢化社会が到来することが予測されています。

しかし、今の社会保障制度のまま放置した場合、年金や医療の負担が上昇を続け、将来の世代に大きな負担を残すこととなります。

今の私たちが大人になるころに、こうした「少子高齢化」が進んでいることとなります。だとしたら、私たちが大人になるころに税金はどのように変わっていくのか疑問です。

日本は世界に比べて、消費税が少ないです。

今の日本は八パーセントですが、韓国だと十パーセント、中国だと十七パーセント、イギリスとフランスだと二十パーセント、デンマークとスウェーデンとノルウェーでは二十五パーセントとかなり高い消費税です。なので、消費税を上げればいいのかと思いましたが、「少子

化」が進んでいく中で消費税を上げることはとても厳しいことがわかりました。

例えば、仮に消費税が十五パーセントになったとき、家など買おうとすれば、消費税だけで今の平均の年収の半分以上になります。となると、半年タダ働きということとなります。それを、「少子化」で支えるとなると、とても大変なことになることがわかりました。

だけど、ここで一つ疑問がうかびました。それは、消費税を十五パーセントにした場合、国民のくらしは苦しくなるのに、デンマークなどの税金の高い国にいる人は幸せなのかなということですが、なんとデンマークは「国民の幸福度ランキング」世界一位でした。

なぜ、税金が高いのにみんなが幸せだと答えるのには理由がありました。それは、国のサービスが充実しているからだと思います。

医療費も教育費も無料だったり、待機児童なんてゼロだったり、有名企業でも無名企業でも、給料は一緒だったり、学校は無料で、受験競争がなかったり、十八歳以上の学生は国から生活費がもらえたりととても充実しています。

日本もただ税金を増やし、国民の負担を大きくするだけではなくて、デンマークのようにサービスを充実させてほしいなと思いました。

そして、これからの「少子高齢化」について、私たちはもっと考えるべきであり、税金の使い道についても、見直すべきだと思います。

鈴鹿税務連絡協議会長賞

快適な暮らし

亀山市立関中学校
3年 山川 満里奈

初めに、どうして税金が必要なのかを、家族で話し合いました。そして、税について知らないことが多いことに気づき調べることになりました。

一番身近な消費税は、商品を買うと必然的に納めていることになっています。それは、お店の人が税金として税務署に納めているからです。

それから、住民税・所得税は、会社に勤めている人は会社が給料から差し引いて納めていて、商売をしている人は自分で計算した税額を納めています。

また、固定資産税・自動車税などは、所有している人が納税通知書にもとづいて税金を納めます。

そして、集められた税金は、国と都道府県と市町村に配られています。税について詳しく調べてみると、税はいろんな種類があつて、いろんな使われ方があることがわかりました。

私は幼い頃から本が大好きで、今でもよく図書館に出かけます。図書館には本がたくさんあつて、絵本や図鑑を借りていました。家にはたくさんのお気に入りのお本がありますが、図書館のようにはいきません。図書館があることは私にとって、とても大きな存在なのです。

母は、水がないととても困ると言います。それは、人間にとって飲み水は必要不可欠なことです。炊事・洗濯物・部屋の掃除・庭の水やりなどに欠かせません。また、ごみの収集も必要です。母にとって水は、とても大きな存在なのです。父は、介護関係の仕事をしています。

お年よりや体の不自由な人のくらしを支えるために福祉は必要です。また、急病人がでると救急車を呼ぶこともあります。父にとつて福祉は、とても重要で大きな存在なのです。

どれも、人が安全で豊かな生活を送るために、必要なものだと思います。

もし、まちの安全を守ってくれる警察がいなかったら？もし、病院で治療を受けるときの費用が高額だったら、痛くても我慢してしまう？もし、学校がなかったらどうする？

いろいろ考えて話し合つると、税金はとても大切だと思いました。なぜかというところ、どれもみんなの生活に欠かせない身近なものに税金は使われているからです。

それから、宇宙開発や科学技術の研究にも税金が使われていて、天体に興味がある私には、とても意味のあることです。また、貧しさや食料不足で困っている人がたくさんいる国を助けるためのお金や食料、病気で使う薬などを送ったり、現地へ行って農業の技術を伝えたりしています。

税金は、自分達だけに使われているだけでなく、みんなで支え合っているのだとわかつて、気持ち明るくなりました。そして、みんなの暮らしが快適になるように、税金は必要だと思えます。

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

消費税の増税

亀山市立亀山中学校
2年 出口 琴海

四十九。この数字はなんの数字かわかりますか。これは、税金の種類の数です。

国に納めるのは二十三種類、県・市町村に納めるのは、それぞれ十三種類あります。ちなみに、今の私たちが納める可能性がある税は、「国に納める消費税」、「県に納める消費税」、あと、「ゴルフ場利用税」、「入湯税」があります。

消費税が一番なじみがあると思います。商品・製品の販売やサービスの提供などの取引に対して、その取引した金額の八パーセントかかります。最初この税ができた時（一九八九年）は三パーセント、次に増税した時（一九九七年）は五パーセント、次に増税した時（二〇一四年）は八パーセント、次に増税する時（二〇一九年）は十パーセントになる予定です。

なぜこんなにも増税をするのでしょうか。その仕組みについて調べました。集められた税金は、社会保障三十二パーセント、国債二十四パーセント、地方交付税十八パーセント、その他二十六パーセント、というように使われます。では、社会保

障、国債に注目します。社会保障とは年金などのことです。国債とは国の借金のことです。最近、国の借金が増えているとききます。理由は、高齢化社会になってきて、年金などのお金を必要とする人が増えてきたからです。しかし、税金の使い道は年金だけではありません。税金を使いすぎても、国のお金はなくなりません。そして、国のお金を増そうとして、消費税をあげていくというわけです。

私は、この仕組みを知つて、国のえらい人達がこの答えがないような問題を一生懸命、考えているんだなと思いました。次は、四十九種類のなかから気になつた税の種類が二つありました。

一つめは、「ゴルフ場利用税」です。この税は、ゴルフ場を利用したときにかかります。最初、調べてこの税を知つたときは、「ゴルフ場を利用したら税金をはらわなアカんのやな」と思いました。

二つめは、「入湯税」です。この税は、温泉地の温泉に入浴したときにかかります。私は、あまり温泉地の温泉に入浴することはないですが、こんな場面にも税金がかかっているんだなと思いました。

税金を国民、一人一人がはらつたら少しでも国のお金が増えていくんだつたら、はらうべき税金は、しつかりはらつてかなと思えました。

ぜひ、みなさんも税金はしつかりはらつてほしいなと思えました。

中学生の 税についての作文入選者

鈴鹿納税貯蓄組合連合会											鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞	鈴鹿税務連絡協議会長賞	鈴鹿税務推進協議会長賞	鈴鹿税務署長賞	三重県教育委員会賞	賞区分	
佳作			銅賞			銀賞		金賞									
学校法人鈴鹿享栄学園 鈴鹿中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立中部中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立亀山中学校	鈴鹿市立平田野中学校	亀山市立中部中学校	学校法人鈴鹿享栄学園 鈴鹿中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立中部中学校	亀山市立亀山中学校	亀山市立関中学校	亀山市立中部中学校	学校法人鈴鹿享栄学園 鈴鹿中学校	鈴鹿市立平田野中学校	学年	氏名
1	2	2	3	2	2	3	3	1	2	3	2	3	3	3	3		
瀧 彩純	村田 萌華	向井 羽汰	岩本 大翔	竹尾 結菜	横道 彩良	青木 絢史	田中 雪乃	佐野 心愛	青木 愛莉	村松 歩佳	出口 琴海	山川満里奈	新開亜梨子	江藤謙汰	上田遥		(敬称略)

小学生の 税に関する習字



鈴鹿市立桜島小学校
6年 瀬古 日向



鈴鹿市立天名小学校
6年 市川 陽菜



鈴鹿市立玉垣小学校
6年 諸岡 楓子

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

鈴鹿税務連絡協議会長賞

鈴鹿税務推進協議会長賞



亀山西小五年
鈴木とほ

役税
割の

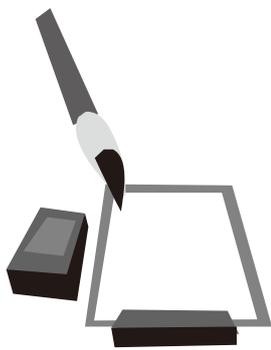
亀山市立亀山西小学校
5年 鈴木 沙萌

若松小五年
倭千奈

役税
割の

鈴鹿市立若松小学校
5年 倭 千奈

金賞



六甲小
藤井翔太

役税
割の

亀山市立亀山東小学校
6年 藤井 翔太

飯野小六年
瀬戸真梨奈

役税
割の

鈴鹿市立飯野小学校
6年 瀬戸 真梨奈

銀賞

加太小六年
坂璃乃

役税
割の

亀山市立加太小学校
6年 坂 璃乃

飯野小六年
後藤まりあ

役税
割の

鈴鹿市立飯野小学校
6年 後藤 まりあ

井田小六年
井上真凛

役税
割の

亀山市立井田川小学校
6年 井上 真凛

銅賞

河曲小五年
坂倉花実

役税
割の

鈴鹿市立河曲小学校
5年 坂倉 花実

庄野小六年
鹿間柚花

役税
割の

鈴鹿市立庄野小学校
6年 鹿間 柚花

関小五年
北川月菜

役税
割の

亀山市立関小学校
5年 北川 月菜

川崎小六年
渥美月

役税
割の

亀山市立川崎小学校
6年 渥美 月

佳作

中学生の税の標語

鈴鹿税務推進協議会長賞

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 宮下 和也

税金は すみよい暮らしを支えてる

鈴鹿税務連絡協議会長賞

鈴鹿市立天栄中学校 1年 鈴木 里菜

納税は 明るい未来をつくるため

三重県間税会連合会長賞

鈴鹿市立白子中学校 1年 岡田 凜奈

税金は かがやく未来をつくりだす

鈴鹿間税会会長賞

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 池岡 元陽

税金は 未来を支える かてとなる

金賞

税金は 人とつながり 支え合う

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 境 美咲

銀賞

税金は 輝く明日の パートナー

鈴鹿市立白子中学校 1年 岩波 真菜

税金は 人をたすける いのちづな

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 三村 昂

税金は 明るい未来を 咲かせる種

鈴鹿市立白子中学校 1年 多田 雄大

銅賞

税金は 暮らしを助ける パートナー

鈴鹿市立平田野中学校 1年 生川 琴葉

気持ちよく 住む毎日を 税金で

鈴鹿市立鈴峰中学校 1年 倉地 祐来

佳作

日本中 つながり深める 税金で

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 川村 優衣

税金は みんなの夢の もとなり

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 山本実紗子

税金は 皆の命を 守るもの

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 原 翔

税金は 未来につながる かけ橋だ

鈴鹿市立平田野中学校 1年 青根 萌衣

税金は 未来を作る 第一歩

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 古川 大地

小学生の 絵はがきコンクール

鈴鹿税務連絡協議会長賞



亀山市立井田川小学校
4年 速水 真

鈴鹿税務推進協議会長賞



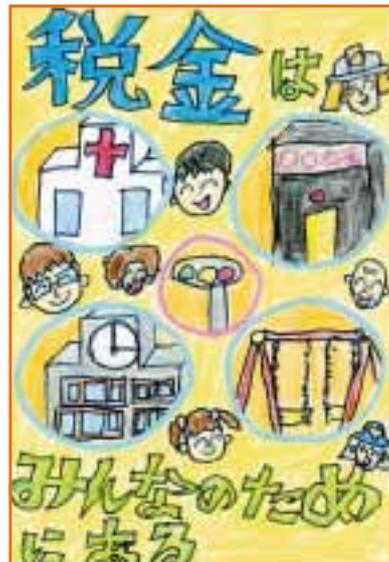
亀山市立井田川小学校
4年 金弦 晃史

公益社団法人鈴鹿法人会女性部会長賞



鈴鹿市立玉垣小学校
4年 林 咲良

公益社団法人鈴鹿法人会会長賞



鈴鹿市立加佐登小学校
6年 酒井 陸杜

金賞

鈴鹿市立明生小学校



6年 大塚 綾香



亀山市立亀山南小学校
6年 西村 ドロシカシ

小学生の 絵はがきコンクール

銀賞



鈴鹿市立玉垣小学校
4年 野田 夏帆



亀山市立井田川小学校
5年 今岡 愛結

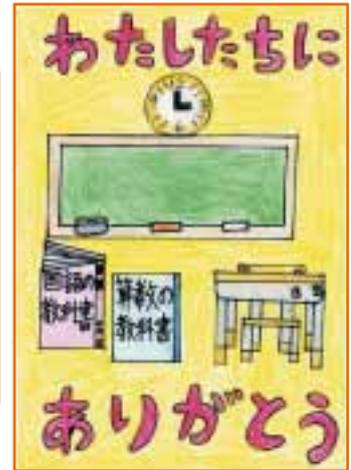
銅賞



鈴鹿市立牧田小学校
6年 小比賀 真那



鈴鹿市立牧田小学校
6年 東丸 瑞希

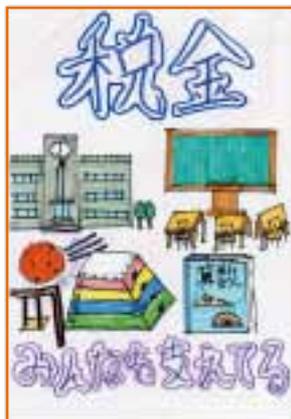


鈴鹿市立飯野小学校
4年 荒木 虹美

佳作



亀山市立関小学校
4年 若林 結来



亀山市立井田川小学校
5年 渡辺 華



鈴鹿市立玉垣小学校
6年 榎本 ゆり



亀山市立亀山西小学校
5年 西川 智稀